

わがまち

# まごめ

発行 大田馬込地区推進委員会  
事務局 馬込特出張所  
〒143-0027 大田区中馬込3-25-5  
☎ (3774) 3301 (代)

## 洗足池

### 馬込からの散歩道 その二

東京に池や湖沼の水辺景観をもった公園は、上野の不忍池など数える程しかありません(旧庭園は除きます)。洗足池は、そんな数少ない親水公園の一つなのです。安藤広重が『名所江戸百景』の一つとして描いたこともうなづけます。

#### ◇馬込から洗足池へ

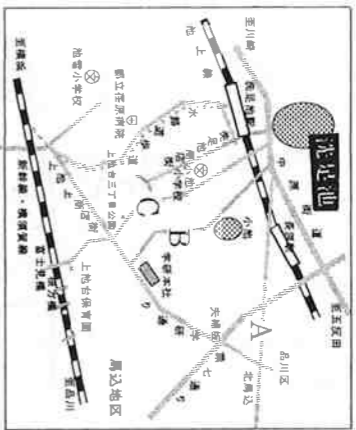
環七通りから、北馬込と品川区との境界の長原商店街への西へ向う道(A)と、もう一つは、新幹線を跨ぐ富士見橋を起点にするB・Cどちらの道も、少々の曲折はあってもほぼ道なりに進むと中原街道へ。中原街道へ出たら、左へ坂を下ればもう洗足池はすぐそこです。

#### ◇池の由来

今から七百年程前の鎌倉時代。このころの歴史年表を見ると、『飢民「千ばつ」』諸国に飢饉続く』などの文字が目につきます。まだ食糧の生産が十分でなかった時代でした。

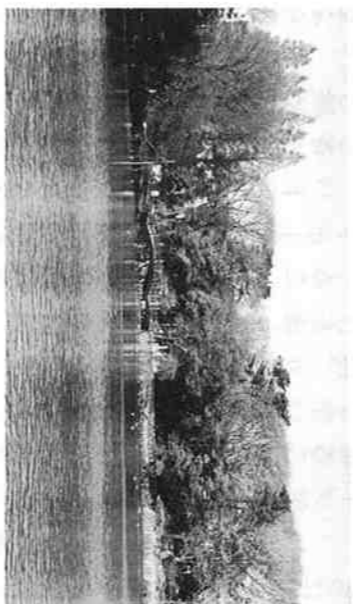
千束郷の生活も例外ではなく、村人は米の生産を高めようと、清水窪の泉からの流れを堰き止め、灌漑用溜め池を造りました。千束郷大池(洗足池の古名)◇鎌倉時代と明治維新と

今の中原街道は『大池』の堰堤の上を通っています。この堰堤から池を反時計廻りに巡ってみましょう。少しもどるよ



うにして坂を上ると、東急バスの折り返し場があります。この広場に沿って左に入ると、がりりと鬱囲気が変わります。国道の喧噪が遠のいて、木々の茂

みがこれほど静かな鬱囲気を醸し出すものかと驚かされます。洗足池図書館を左にして進むと、右手に大森六中の校地に植え込みがあります。この辺りが『洗足軒』の跡。戊辰戦争の時、西郷隆盛と話し合い江戸を戦火から守った勝海舟が、晩年を過ごした屋敷跡。左手の山門は妙福寺御松庵の門。寺城内に、日蓮上人の『袈裟掛けの松』があります。



門内左手奥、掛けの松。日蓮上人が足を洗う間ハンガー役を務めた松です。

日蓮が池上宗伸を訪れる途上、二八二年(弘安五年)の安の役の翌年、九十月。そして池の名は『洗足池』に。

元々の道を奥へ進むと、竹垣と植え込みのある右手奥には、かわいらしい同じ形の石塔が並んでいます。勝海舟と、民字夫人のお墓です。墓石の『海舟』の文字は徳川慶喜の筆と言われています。

左手に人の背丈程ある碑に篆放闊達な文字が彫られています。署名の南州は隆盛の号。海舟が西南戦争で自決した西郷



隆盛の死を悼んで建てた留魂碑です。その奥に、海舟の隆盛に対する想いを偲んで詠んだ徳富蘇峰の詩碑もあります。

◇超々三三三『尾瀬ヶ原』抹茶の漂う空間から出て、池畔へもどりましょう。

水上テラスと木道と水生植物。三三三原の世界です。季節によっては、アサガ、コウホネ・ヒシなどなじみの花が見られます。振り返って水面にはマガモ・オナガカモ・キンクロハジロなど、遠方からの訪問客に会うことができます。

池を北に回ってまっかな橋を渡ると、洗足池の守護神、巖島神社。弁財天が祭られています。

◇馬込は『磨墨』、千束は『池月』弁天島の北は桜山。二百本近い桜の木が植えられていて、花見時にはたくさん

の花見客で賑わいます。実は、この桜山は長い間『旗山』と呼ばれていました。『旗山』の旗は、源氏の白幡。昔ここに源頼朝軍が集結したこと

があったのです。そして、頼朝軍の将、梶原景季の乗馬『磨墨』は馬込の産。佐々木高綱の乗馬『池月(生暖)』はここ千束の産と伝えられて

ています。ともに、千束八幡宮(別名旗拳げ八幡宮)に武運を祈って出陣したのです。平家物語の世界です。

池の入江奥に、生きている化石木といわれるメタセコイヤの森を見てください。ゆくと、もとの堰堤の上にもどります。

## まごめ 文芸

### 俳句

菖蒲む子に母遠く歩きをり

野村 久雄

春の虹消えて我旅終らんと

坪井 教子

奥入瀬の流れ新樹の森に沿ふ

兵藤 芳子

離納むうすき埃を払ひつつ

舟山 紀

一輪の俵助に日のとどきをり

牧田誠津子

### 短歌

北国の雪の山里越え来しや

梅花を散らす春浅き風

大塚 ちよ

梅一枝和泉の表紙に花びらの

赤々として息づく如し

伊藤寿美恵

狩野川のほとりの村に梅咲いて

クベの鐘の響きかすかに

墓碑の蔭群れて咲き初む犬ぶぐり

エメラルド色に淡き春見す

浜崎千恵子

つくしんぼひよんな所に顔を出し

春が来たよと歌い出しそう

宮田 博子

### 柳川 卒業

川柳遊芳会

選者 近江あきら

○なかなかに卒業させぬ雲の道

○淋しいな母を卒業子の巣立ち

○大学を出たがりストラ狭き門

○就職もきまり背広の孫が来る

○人生の卒業出来ず老いて行く



